



こけし 絵付け 体験



登別は、伊達政宗の右腕・片倉小十郎の末裔が明治期に切り開いた土地。登別伊達時代村はその開拓精神を今に受け継いでいます。

伊達政宗の重臣・片倉氏の城下町、白石市は、有名なこけしの産地です。

登別伊達時代村では、日本伝統の木製人形「こけし」に、誰でも簡単に絵付けを楽しめる体験ができます。お好きな色や模様を描いた、かわいい忍者や町娘のこけしは、きっと忘れられない修学旅行での思い出の品になるでしょう。



「町娘」か「忍者」お好きなこけしを選んでください。

顔などを元から描いてあるこけしを使用しますので、誰でも簡単に絵付けを楽しめます。



好きな色を自由に塗ってください。

模様や文字なども描いて自分だけのオリジナルこけしを作りましょう。



作業時間
約 **40分**

職人が、ニス加工・金具の取り付けなどの仕上げをいたします。



できあがり / 修学旅行のお土産にぴったり！

金具はキーホルダーと根付の2タイプから選べます。

※ 完成作品は翌日発送いたします。